

- ・テーマ 「私から見た日本」
- (3) 第5回 (7月1日開催) 参加 34名
  - ・講師 長沼 康光(コスキン・エン・ハボン代表)
  - ・「ケーナとともに生きて」
- (4) 第6回 (9月2日開催) 参加 29名
  - ・講師 網野 正勝(㈱トーハン東部支社 総括課長)
  - ・テーマ 「出版流通の現状と課題」
- (5) 第7回 (10月7日開催) 参加 31名
  - ・講師 菅原美智子(ラジオ福島㈱アナウンサー)
  - ・テーマ 「私とラジオ」
- (6) 第8回 (11月4日開催) 参加 31名
  - ・講師 菅野 典雄(飯館村公民館長)
  - ・テーマ 「21世紀への視点」
- (7) 第9回 (12月2日開催) 参加 39名
  - ・講師 三浦 裕(県立医科大学検査部助教)
  - ・テーマ 「臨床検査における正常と異常」
- (8) 第10回 (1月6日開催) 参加 52名
  - ・講師 樽川 満(東邦銀行㈱専務取締役)
  - ・テーマ 「日本をめぐる経済環境について一変わるものと変わらないもの」
- (9) 第11回 (2月3日開催) 参加 42名
  - ・講師 境野 米子(食べ物研究家・薬剤師)
  - ・テーマ 「癌とたたかう食生活」
- (10) 第12回 (3月3日開催) 参加 40名
  - ・講師 大橋 雄守(銀嶺食品工業㈱常務取締役)
  - ・テーマ 「いのちの讃歌」

## 第2節 資料の収集・整理

県民の資料に対する要求も年々多様化・専門化の傾向が顕著になってきているため、それぞれの分野でよりきめの細かな収集に努めるとともに、蔵書構成上の欠落部分を補填するよう再点検を実施した。

### 1 図書館資料の収集

#### (1) 一般資料の収集

昨年度に引き続き、人文科学・社会科学・自然科学それぞれの部門で参考図書の充実に努めた。また、各部門とも専門分野における基本資料の整備に務め、より高度な情報提供に備えた。

#### (2) 郷土資料の収集

郷土資料については様々な情報網を駆使し、網羅的に収集を図り、限定、自費出版、記念誌等の地域資料の発掘収集にも努力した。

また、市町村史、県及び市町村発行の行政資料についても、引き続き重点的に収集を図った。

#### (3) 視聴覚資料の収集

県出身音楽家、映画監督による作品のビデオテープ、LD、CD等の収集や、県人製作のカセットテープ、CD等の寄贈があった。

また、県広報聴課から、県政広報番組のビデオテープ

の移管もあった。

#### (4) 児童図書・研究図書の収集

児童及び児童図書を研究する利用者のために、児童書では、子供たちに読んでほしいと願い選んだ図書・課題図書・各種受賞図書・教科書に取り上げられている作品の原書及び郷土出身作家・画家の図書を中心に収集した。

研究資料については、児童文学や絵本についての作家論・作品論を中心に収集した。復刻書、雑誌も昨年に引き続き収集した。

#### (5) 逐次刊行物の収集と整備

利用者の多様な要望に対応すべく、各分野の定評ある雑誌を収集すると共に、今年度も近代文学関係雑誌および、近代女性史研究に不可欠の資料である「婦人新報」「近代婦人」「婦選」等婦人関係雑誌の復刻版を収集し、資料の充実を図った。

新聞については、地元紙、中央紙の収集保存に努め、地元紙はマイクロフィルム化により、汚・破損防止に努めると共に、郷土関係連載記事のクリッピング等によって利用者の利便を図った。

〔表1〕 平成5年度逐次刊行物受入整理状況  
(単位：種)

区 分	購 入	寄 贈	計
新 聞	16	59	75
雑 誌	210	881	1,091
特許公報類	-	8	8
官 報 等	3	-	3
計	229	948	1,177

〔表2〕 平成5年度資料の受入状況  
(単位：冊)

区 分	購 入	寄贈・他	計
一 般 資 料	6,409	3,520	9,929
郷 土 ・ 行 政 資 料	799	4,674	5,473
児 童 図 書	835	223	1,058
児童図書研究室資料	1,255	533	1,788
館 外 用 図 書	3,092	1,537	4,629
計	12,390	10,487	22,877

## 2 蔵書目録の発行

「増加図書著者・書名索引」として平成5年度に収集した図書の目録を発行し、関係機関に配布した。

## 第3節 館内奉仕

直接来館される方を中心とした利用者への、館内における